

## 2. 組織の充実・強化

### 1) 分封について

H29年度は180社以上の正倫理法人会は70社以上で分封する。  
 分封は、新しい役職者を産み、新しい縁を産み、倫理実践を深化させる。  
 「高い使命感」(進化)で分封により多くの役職者を輩出しよう。  
 ※新設単会については70社以上の準倫理法人会として開設。又は、  
 100社以上の正法人会として設立する。(いずれの場合も1ヶ月前登録)  
 例1)親180社-35社分封 ⇒ 子35社+35社以上の新規で準倫理法人会開設  
 例2)親200社-50社分封 ⇒ 子50社+50社以上の新規で正倫理法人会設立  
 ※いずれも親は、残数+5以上の新規普及で正倫理法人会の資格を確保する。

### 2) 正倫理法人会

単位法人会は、常に100社以上の会員企業数をもって、  
 質量ともに充実した組織活動と会員サービスが求められている。  
 年間の底打ち月の会員数を全単会100社以上(拡充)にしよう。  
 ※茨城県倫理法人会は2年以内に全単会正法人会を目指す。  
 (H28年度末時点／正=23単会・準=5単会／28単会)

### 3) 地区・親子・近隣単会の関わり

各単位法人会の活動は、地域に根ざしたキメ細かな組織活動を通して、  
 倫理経営を実践する企業の“仲間づくり”が第一義の目的です。  
 そしてその仲間づくりは主に私たち役職者の“縁”を通して展開されます。  
 更にその“縁”は、地域の(全国各地の)多種多様な業種の方々との、  
 複合する複雑(クロスオーバー)な関係で成り立っています。  
 現に、単会の中でもA氏の勤めでは難しかったがB氏が行ったら、  
 スムースに入会してくれたなどというのはよくあることです。  
 このせっかくの“縁”の倫友ルートを少し広げて親子・近隣の単会や、  
 地区内での情報交換を積極的に推進して“仲間づくり”の機会を、  
 建設的に発展的に増幅させたいものです。

### 4) 地区内の委員会交流

各委員会には、その委員会ごとの主要な活動目的がありますが、  
 最大の目的は「未入会者の巻き込み」という役割を持っています。  
 この活動を近隣の単会や地区内で定期的な交流会として行うことで、  
 “普及の宝”となる見込み者のリスト集めが容易になってきます。  
 活動方針は、常に「“三たろう”交流」(P53参照)で展開しましょう。